

定例議会レポート

2011.2 月定例会

「議員定数削減54!」



阪本 かつみ

《役職》
保健福祉常任委員会 副委員長
見沼田圃将来ビジョン特別委員会 委員
農業委員会 委員

議員定数を「54」に削減！ 自民・公明・共産党の反対により否決！

私たち民主党・無所属の会市議団は、行財政改革を主張している立場から“自らも身を削る”ことを示すためにも、現在の議員定数「64」から10減となる定数「54」の条例案を提出しました。もともと議員定数削減案(10減)については、自民党市議団も提案していたはずなのですが、自民党をはじめとする公明党、共産党などの反対によって、この条例案は否決されてしまいました。

結局、自民党市議団による議員定数を「54」に削減するという提案は、ただ単に選挙前のパフォーマンスだったようです。

定数の削減も含めた議会改革の課題については、改選後の議会に引き継がれていくこととなります。是非、私たち会派の取組みにご注目ください。

議員報酬・政務調査費を10%削減!!

昨今の厳しい財政状況を鑑み、議員報酬と政務調査費を10%削減するという議案については、我が会派を含め賛成多数で可決となりました。



2月定例会で討論に臨む

平成 23 年度予算の概要

予算の特徴

平成 22 年度と比較して、歳入では、企業収益の回復傾向を受け、市税が約 34 億円増額となった一方、歳出では、扶助費が約 119 億円増額となり、財政需要の増大が歳入の増額を上回る厳しい予算編成となりました。

予算規模

一般会計	4408 億 9000 万円(2.8%増)
特別会計	2008 億 600 万円(8.8%増)
企業会計	1133 億 6924 万 3 千円(3.7%増)
合計	7550 億 6524 万 3 千円(4.5%増)

主な新規・拡大事業

- さいたま市曜チャレンジスクール・放課後チャレンジスクールの拡大
どちられ 30⇒80 校、放課後 40⇒70 校
- 待機児童ゼロプロジェクトの推進
認可保育園(平成 23 年:定員 545 人増、平成 24 年:定員 300 人増)
ナーサリールーム・家庭保育室(平成 23 年:定員 300 人増)
放課後児童クラブ(平成 23 年:受入可能児童数 360 人増)
- 社会福祉法人が建設する特別養護老人ホームに対し支援を実施
広域型特養ホーム 3 箇所、地域密着型特養 2 箇所、小規模多機能居宅介護事業所 2 箇所整備
- 緊急時安心キットの配布
高齢者世帯等に、掛かりつけ医療機関、緊急連絡先等の情報を入れたキットを配布
- スポーツもできる多目的広場を整備
- コンビニエンスストアでの住民票等の発行(平成 24 年度開始予定)
- オリジナルナンバープレートの導入(平成 24 年 6 月交付開始予定)
「区の花」をデザインしたオリジナルナンバープレートを導入



阪本かつみオフィシャルブログの QR コードです。
お手持ちの携帯電話等で QR コードを読み取ってご覧ください。

阪本かつみ オフィシャルウェブサイト

<http://sakamoto-katsumi.net/>

あした 明日のために

民主党・無所属の会さいたま市議団
未来への15の約束



明日のために 改革を！

1. 将来負担となる借金を増やさず、健全財政を維持します
2. 事業評価を予算編成にきちんと反映させることで、事業のスクラップ&ビルドを図ります
3. 民間の力を官のプロジェクトに積極的に取り入れます



明日の世代を はぐくみます！

4. 待機児童を解消し、放課後児童クラブを充実させます
5. 教育日本一のさいたま市を目指します
6. 児童虐待ゼロを目指します



明日に向かって いきいきと！

7. ひとり暮らしの高齢者にも安心して暮らせるまちづくりを進めます
8. 年を重ねても元気に地域などで活躍できるさいたま市をつくります
9. 介護疲れを招かないよう、介護する人のサポートの充実をはかります



明日のまちをつくります！

10. (仮称) さいたま新都心ビジョンを策定します
11. 見沼たんぼや荒川など、地域資源を生かしたまちづくりを進めます
12. 公共交通システムの充実と自転車の安全利用を進め、人と環境にやさしいまちを作ります



明日の力は 市民の力！

13. 中小企業支援策の充実を図り、活力あるさいたま市を作ります
14. 市政の課題の解決に向け、無作為抽出の市民による意見を積極的に取り入れます
15. 新しい公共の取り組みで、若い世代も活躍できる仕組みを作ります

そして、
議会は
更なる
進化へ

様々な形で市民の皆さんが活躍する未来。議会にも、市民の皆さんの声を今まで以上に反映していく必要があります。

まず、何をやっているかわかりにくい議会の仕事を皆さんにお伝えするため、議会報告会の開催を目指します。そして、市をリードする積極的な政策提言を政策条例の形で提案していきます。また、会期にとらわれることなくじっくり議論できるよう、通年議会へ。更に、事業仕分けの手法を活用した常設の(仮称)決算行政監視委員会を設置し、常時ムダをチェックします。そして、議員定数54の実現を目指し、報酬なども含めた議会のあるべき形について、徹底的に議論して改革を進めます。

阪本かつみ
Profile

1960年 浦和市生まれの浦和育ち さいたま市桜区町谷在住
妻・長男・長女・次女の5人家族(犬も一匹 猫も一匹)
家業である(有)阪本鍍金を弟に託し、衆議院議員武正公一の公設第1秘書となる
6年間勤務した武正公一事務所を退所し、
2007年4月 さいたま市議会議員選挙へ挑戦、初当選を果たす

